



BUSINESS REPORT

T O B E T H E L E A D I N G F O O D S E R V I C E E N T E R P R I S E



COourage LOve WIsdom DEcision
Colowide's name expresses our attitude toward our efforts to
provide more comfortable, enjoyable settings.

第**62**期 事業報告書

2023.4.1—2024.3.31

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社グループの第62期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の業績についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 野尻 公平

◆ 我が国の経済動向

当連結会計年度における我が国経済は、社会経済活動の正常化が進み外需の伸びやインバウンド需要の大幅な増加等もあって景気回復への動きが緩やかに見られました。しかしながら、円安傾向の想定以上の長期化や地政学的リスク等による物価高から消費者心理の冷え込みが危惧され、先行きは相変わらず不透明な状況となっております。世界経済につきましても、インフレの蔓延や中国経済の停滞等から景気減速に対する懸念が続いております。

◆ 外食産業の動向

外食産業におきましては、需要の回復に加えて各社による価格改定の効果が一定程度あったことからトップラインは持ち直しつつあるものの、コスト上昇圧力は収まらず慢性的な人手不足もあり、予断を許さない経営環境のまま推移しております。更に深夜帯の利用客が減少する等、コロナ禍を経た生活様式の変化が定着し、加えて実質賃金の低迷から外食シーンでも節約志向や選別志向が高まっております。

このような状況の中、当社グループでは変化したライフスタイルに即した消費者の皆様には選ばれるブランド作りを強化すると共に、中期的な経営環境の変化に対応する為の取組みを継続しております。

◆ 営業施策

商品施策としましては、各ブランドとも集客力の土台となる主力商品の磨き込みと高付加価値食材等を活用したメニューによる体験価値の向上に努めております。その一例として、かっぱ寿司では、価格競争力の維持の為に100円（税込110円）の商品を100種以上取り揃え、更に付加価値強化の為に贅沢感のあるネタの使用や有名店とコラボレーションした商品を販売するといった活動を行っております。

販売促進施策としましては、牛角・大戸屋・かっぱ寿司といった国内で一定の店舗網を有するブランドでイメージアップを兼ねて人気タレントを起用したテレビCMを投下する一方、フレッシュネスバーガーがTBSテレビ系列の番組「ジョブチューン」の人気企画に参加し好評を得る等、PR活動にも引き続き注力しました。海外におきましても、各国の市場環境に応じてSNSを駆使したプロモーションを展開し、米国では牛角アプリを通じて「肉の日」企画等によって顧客の囲い込みを行っております。

◆ 店舗施策

お客様にとって心地良い空間を維持することを目的に経年劣化した店舗の改装を推進しており、かっぱ寿司のフルオーダー化による利便性の向上や、牛角の内外装のリフレッシュ及び店内作業の効率化も主要なテーマとしております。そして、適切なQSCAの水準を保つ為に営業人員の確保及び教育に注力し、配膳ロボットやスマホオーダー、セルフレジ等の活用にも継続的に取り組んでおります。

新店投資につきましては、変化した外食ニーズ及び商圈に対応すべく、業態・立地バランスの見直しとコロナ禍期間における直営店純減分の回復を主眼として積極的に取り組んでおります。具体的には、国内では牛角や大戸屋といったレストラン業態を郊外・ロードサイド中心に配置しており、海外では集客力が高いショッピングモールを主要立地として、牛角及びその派生業態を中心に増店を重ねております。

◆ コスト上昇への対応

コスト上昇への対応としましては、「コロナワイドMD研究所」の本格稼働を通じ、グループ各社の商品開発部門の統合によって食材の歩留まりの向上等の効率化を進めた上で、調達環境に応じたグランドメニューの変更及び商品価格の改定を行って参りました。更に物流の「2024年問題」への対応として、配送拠点数を全国16拠点から12拠点に集約し、食材配送頻度の最適化も進めて大半の配送センターで週6日配送を週5日に減少させました。

◆ 給食事業

中期ミッションの一つである給食事業につきましては、事業所や大学からの運営受託の拡大に取り組むと共に、主眼とする病院・介護施設の給食事業への参入に向けて、3月25日にはヘルスケア分野の給食受託を専業とする(株)ニフスの全株式を取得し、当社グループに迎えております。また、小ロットでの食材納品等、多様な配送ニーズに対応することを目的にヤマト運輸㈱と新たな物流スキームを構築し、給食事業で着実にノウハウの蓄積及び活用を進めております。

◆ サステナビリティ

サステナビリティへの取組みにも引き続き注力しており、その一例として、

グループ会社の全10工場で「食品リサイクル率100%」を達成しました。加えて大豆ミート製造ラインの稼働率向上に努め、ステーキ宮やかつぱ寿司等のブランドで商品化しております。更に農業生産法人に資本参加し野菜の安定供給を図る等、持続的な食材調達に向けてサプライチェーン全体を視野に活動を行っております。

また、女性リーダーの育成研修や多様な就業形態の提供による働きやすさの確保等、働く仲間の成長と多様性の尊重に係る活動も進めており、3月には「健康経営優良法人 2024(大規模法人部門)」に認定されました。地域・社会への貢献策として取り組んできた「こども食堂」は利用者が延べ9万人を超えました。

◆ 店舗の出退店

店舗の出退店につきましては、直営レストラン業態を94店舗及び直営居酒屋業態を12店舗、合計106店舗を出店する一方、直営レストラン業態を48店舗、直営居酒屋業態を19店舗、合計67店舗を閉店しております。その結果、当連結会計期間末の直営店舗数は1,403店舗、FCを含めた総店舗数は2,583店舗となりました。総店舗数に占めるレストラン業態の比率は90%と着実に事業ポートフォリオの最適化を進めております。

◆ 2024年3月期の業績について

以上の取組みを進めて参りました結果、当連結会計年度の連結業績につきましては、連結子会社である㈱アトム業績回復が遅れているものの、㈱レイズインターナショナルを中心とした他の連結子会社の業績が著しく回復していることから、売上収益が2,412億84百万円、事業利益が87億12百万円、当期利益が40億64百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益が29億5百万円となりました。

当社グループのセグメント別の売上収益につきましては、㈱コロワイドMD 852億55百万円、㈱アトム369億74百万円、㈱レイズインターナショナル 997億25百万円、カッパ・クリエイト㈱721億97百万円、㈱大戸屋ホールディングス278億94百万円、その他76億38百万円となっております。

尚、各セグメント別の売上収益は、セグメント間の内部売上収益又は振替高等を考慮しておりません。

◆ 今後の見通しと展望

2025年3月期につきましては、米国における根強いインフレ及び高金利政策や中国経済の停滞等による世界的な景気減速感の高まりが懸念さ

れます。我が国におきましては、大企業を中心とした高収益により経済活動は回復基調を維持するも、個人消費はコロナ禍明けからの需要回復の一巡に加え、実質賃金の伸び悩み等から節約志向・選別志向が継続するものと思われまます。コスト上昇圧力や人手不足も収まらず、外食産業にとって楽観できない状況が依然として続く予想されます。

このような状況の中、当社グループは中長期的な企業価値の向上を展望し、中期経営計画「COLOWIDE Vision 2030」に基づいた事業推進に努めております。国内外食事業を事業基盤としつつも市場の拡大が見込まれる海外外食事業や新規に参入した給食事業の成長を通じて、2030年3月期までに連結売上収益5,000億円の達成を目指し、企業価値の向上に努める所存であります。

国内外食事業につきましては、引き続きレストラン業態を中心とした出店、経年劣化した店舗の改装や業態転換に加え、M&Aによるシェア拡大を継続して行って参ります。4月1日にはデザート部門拡充の為に「チーズガーデン」「クリオロ」等の顧客評価の高いスイーツブランドを保有する㈱日本銘菓総本舗の全株式を取得し当社グループに迎えており、今後は国内主要都市及び海外への展開を含めた事業拡大を推進します。

海外外食事業につきましては、既に展開しているアジア諸国及び北米の事業強化に加え、未出店エリアの開拓を推進します。主に生産年齢人口に着目して成長余地が大きなマーケットを選択し、焼肉業態及び回転寿司業態を中心に出店を行う計画です。4月9日にUAEの有力企業であるChinese Palace Corporate Management社との合併契約を締結した中東地域では、2030年3月期までに55店舗体制とすることを目指しております。

給食事業につきましては、㈱ニフスの株式取得を足掛かりとして病院・介護施設の給食事業への本格参入・事業拡大を進めております。外食市場での競争により培ったメニュー開発力や高い運営効率、セントラルキッチンを活用したミールキットによる調理効率の向上により、フードサービスカンパニーとしての優位性を活かした展開を目指します。

更に社会的な責任を果たして長期に渡って成長を続けるため、サステナビリティの推進にも注力し、当社として重点的に取り組む5つのマテリアリティ(重要課題)、「地球環境への貢献」「食の安全・安心の提供」「働く仲間の成長と多様性の尊重」「地域・社会への貢献」「経営基盤の強化」に基づいて引き続き活動して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



■ グループの事業について

社名の由来

COLOWIDE (コロワイド) の社名にこめられた意味

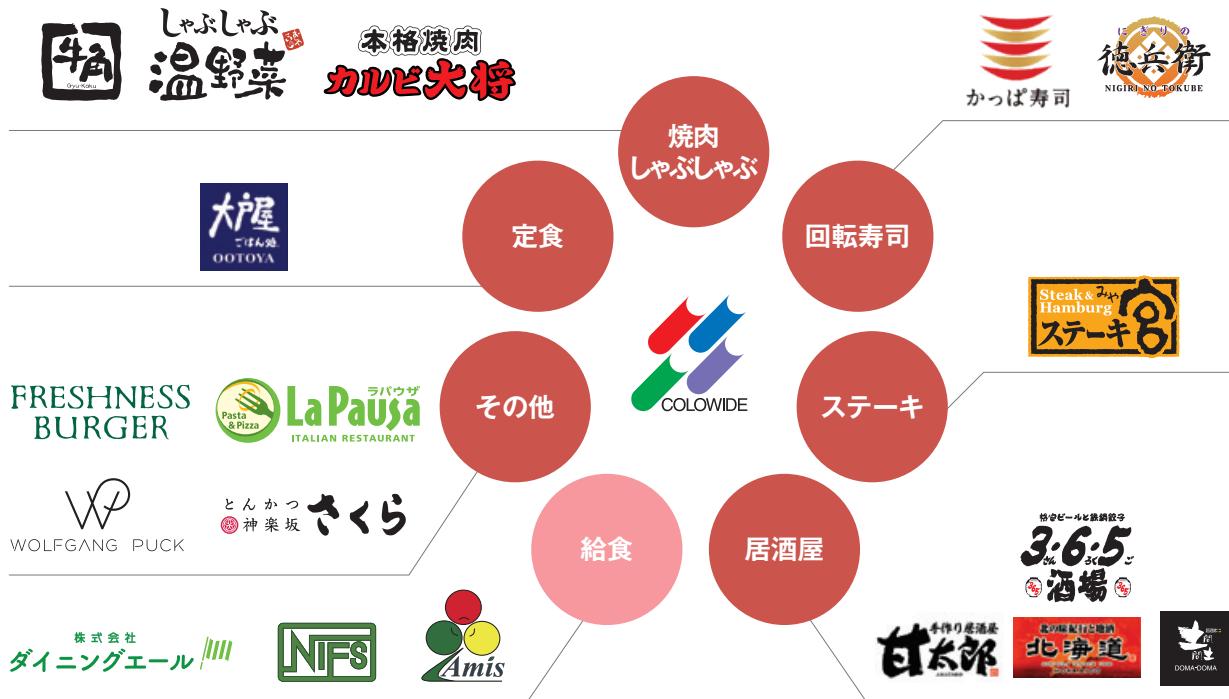


- CO …… 勇気 (Courage)
- LO …… 愛 (Love)
- WI …… 知恵 (Wisdom)
- DE …… 決断 (Decision)

4つのファクターを一つに

コロワイドの社名は、人が生きていく上で大切な4つのファクターを一つにまとめたものです。従業員一人一人がこの4つの大切な精神を常に心に刻み、未来にチャレンジしていく強い意志と勇気がこめられた社名です。

業態別コアブランド



グループ体制と出店状況

■ グループ体制

(2024年3月末現在)



株式会社コロワイド (持株会社)

東証プライム 証券コード 7616

この他に、中間持株会社として(株)レックス、(株)SPCレックス、(株)SPCカップ及びAME-GYU CO.,LTD. があります

株式会社コロワイドMD

各種食料品等の商品開発・生産・調達・製造・物流のマーチャンダイジング全般

株式会社ダブリュービージャパン

飲食店チェーンの運営

株式会社ダイニングエール

事業所や学校施設を中心とした給食受託事業

株式会社ニフス

病院や介護施設を中心とした給食受託事業

株式会社アミス

給食事業の運営及び食宅宅配、食材セット販売

株式会社エムワイフーズ

業務用一般消費者向けたれの製造及び販売

ワールドビーコム株式会社

ITシステムの企画・運用・保守、コールセンター事務

株式会社コストイズ

酒類等の販売・物流

株式会社シルスマリア

生菓子、焼き菓子、チョコレートの製造・販売

株式会社レインズインターナショナル

国内・海外における飲食店チェーン及びFC事業の運営

株式会社フレッシュネス

飲食店チェーン及びFC事業の運営

株式会社Beer Thirty

飲食店事業の運営

海外子会社

北米・アジアにおける飲食店チェーン及びFC事業の運営

株式会社アトム

飲食店チェーン及びFC事業の運営

カップ・クリエイト株式会社

飲食店チェーンの運営

株式会社ジャパンフレッシュ

デリカ事業

株式会社大戸屋ホールディングス

国内及び海外における飲食店事業の企画・運営・管理

株式会社大戸屋

飲食店チェーン及びFC事業の運営

海外子会社

米国・アジアにおける飲食店チェーン及びFC事業の運営

株式会社ベイ・フードファクトリー

飲食店事業の運営

株式会社フューチャーリンク

飲食店事業の運営

株式会社コロワイドサポートセンター

給与計算・社会保険管理等の労務関連業務

株式会社ココット

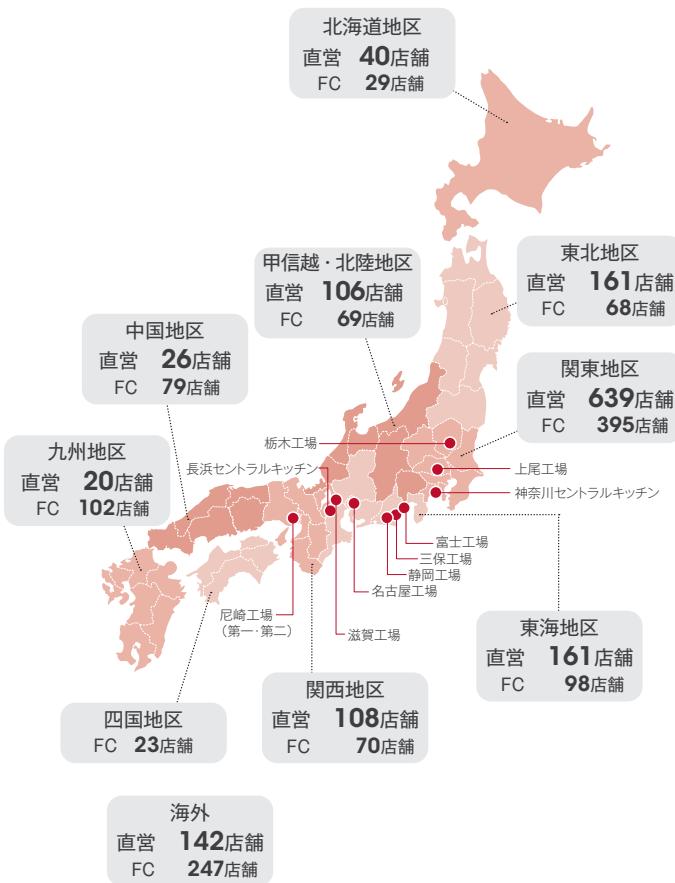
事務処理業務

■ 地域別店舗分布及びセントラルキッチン網

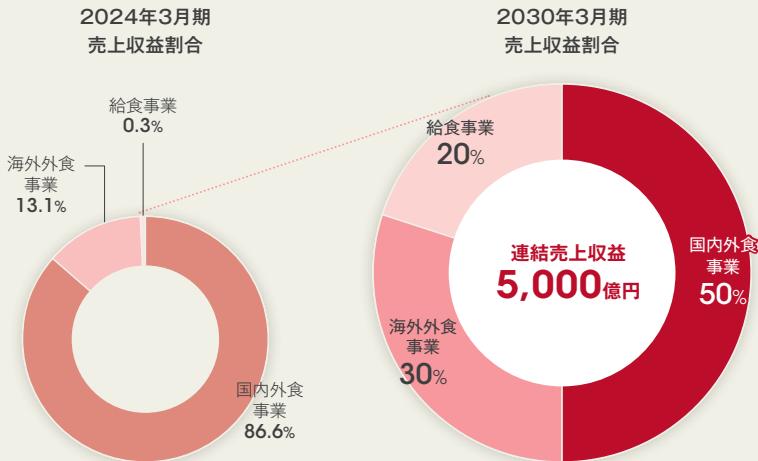
(2024年3月末現在)

直営店
1,403店舗

FC店
1,180店舗



COLOWIDE Vision 2030 中期経営計画



◆ 国内外食事業

- レストラン業態を中心とした積極出店及び既存店改装の推進
- 事業領域の拡大の為、顧客評価の高いスイーツブランドをM&A

◆ 海外外食事業

- 既存地域の出店余地における増店を継続
- 新たな地域への進出に向け、UAEの有力企業と合弁契約を締結

◆ 給食事業

- 病院・介護施設を対象とした給食事業への参入の為、ノウハウを保有する企業をM&A
- 中京地域を中心に給食事業を展開する日本ゼネラルフード株式会社とJVを設立

◆ サステナビリティ

- 当社として特定した5つのマテリアリティ(重要課題)それぞれについて、着実に活動を推進
 「地球環境への貢献」「食の安全・安心の提供」
 「働く仲間の成長と多様性の尊重」「地域・社会への貢献」
 「経営基盤の強化」

外食事業 (国内・海外)

■ 国内

牛角ブランド・大戸屋・とんかつ神楽坂さくら等のレストラン業態を郊外・ロードサイドへ積極的に出店しました。



とんかつ 神楽坂 さくら



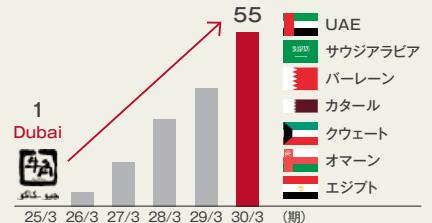
■ 海外

牛角を中心にASEANのけん引役であるインドネシアをはじめとして、既存地域の出店余地に対して増店を継続しました。



■ 新たな地域

経済成長が見込まれる中東への進出に向けて、UAEの有力企業との合弁契約を締結しました。



Chinese Palace Corporate Management社と合弁契約



給食事業

M&Aによりヘルスケアの給食事業へ本格参入しました。
2025年3月期の売上収益は140億円規模となる見通しです。

■ 今後の展開イメージ



ニフス

アミス

ダイニング
エール

ハートフル
ダイニング

グループ
MD

ソシオ
フード
サービス

クック
サービス

外食のテイストを
織込んだ
ミールキットの活用
AI活用による
献立作成の効率化
物流における工夫

■ 新規事業の展開

事業領域の拡大の為、顧客評価の高いスイーツ
ブランドのM&Aを実施しました。



海外展開及び
国内主要都市への
展開

サステナビリティ

食の安全・安心の提供
(安全管理レベルの向上)



㈱コロナフーズMDでは、国内全工場における「JFS-B」認証の取得により、衛生管理の国際的な手法である「HACCP」をクリアしました。食品の安全管理レベルの更なる向上、フードサプライチェーン全体における食の安全・安心の担保に資することで、取引先、顧客からの信頼獲得を高めて参ります。



働く仲間と多様性の尊重
(女性活躍推進)



グループ全女性社員が参画する「女性活躍推進プロジェクト」を通じ、女性社員の自立やキャリア形成を助ける機会を定期セミナーや交流会等を通じて提供しております。



2022年にコロナフーズ2つ星、翌年にフレッシュネスが最高位3つ星取得

地域・社会への貢献
(能登半島地震被災地にて)



2024年1月1日に発生した能登半島地震発生直後より各被災自治体等との調整の上、避難所において“炊き出し”を実施しました。食のインフラを担う企業として、こうした草の根的支援活動を少しでも多くの方に知って頂き、より実効性のある支援の輪が社会に広がる一助になればと考えております。

■ グループ会社紹介



REINS international inc.
株式会社レイズインターナショナル

「牛角」「しゃぶしゃぶ温野菜」を中心に
国内外で直営店・FC店を展開

「牛角」、「しゃぶしゃぶ温野菜」、「居酒屋 土間土間」等の業態を国内及び海外において、直営店事業、フランチャイズ本部（マスターフランチャイザー）としてフランチャイズ（FC）事業を行っています。直営店舗にFC店舗も含めた店舗網は全都道府県に展開しており、(株)コロワイドMDのマーチャンダイジング機能が有効に活用され大きなシナジーを生んでいます。また、日本国内で気軽に楽しめる食文化として定着している焼肉は、海外でも「YAKINIKU~JAPANESE BBQ」として普及しつつあり、北米・アジアにおいては「牛角」、「しゃぶしゃぶ温野菜」を中心に278の店舗網を構築し、事業のグローバル化を進めています。



牛角食べ放題専門店（外観）



牛角



しゃぶしゃぶ温野菜



牛角（外観）



郊外型レストラン「ステーキ宮」をはじめ
目的性の強い外食ニーズに対応

主に中部、東北、北関東地区において、郊外型レストラン、居酒屋を中心に店舗展開をしています。「ステーキ宮」をはじめ、グルメ回転寿司「にぎりの徳兵衛」、焼肉「カルビ大将」、カラオケ「時遊館」等、来店目的が明確な業態展開と家庭ではなかなか体験できない様々な料理や高いレベルのサービスを提供することによって、お客様の体験価値向上に取り組んでいます。現在、アトムでは外食事業を通じ、地域社会・地域経済との共存共栄を図り、その地域においてなくてはならない存在となる企業活動を行っていくことで、社会の持続的な発展への貢献を目指しています。



ステーキ宮



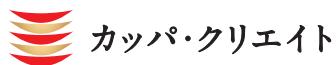
ステーキ宮（外観）



にぎりの徳兵衛



カルビ大将



カッパ・クリエイト

「うまい!かっぱ寿司」は更なる進化へ 回転寿司のパイオニア

回転寿司事業である「かっぱ寿司」のリブランディングに取り組むカッパ・クリエイトは、リーディングカンパニーとしてのポジションを奪回するため、“できたて”をお届けするフルオーダー改装、スマホオーダー、セルフレジ、自動案内システムなどのお客様の利便性を向上させる設備導入に取り組むと共に新たなマーケティング施策を推進しています。価格訴求×価値訴求の進化、ファミリー層拡大を企図した集客、QSC改善によるお客様満足度向上に取り組む、強い既存店づくりを進めています。「かっぱ寿司」は国内に296店舗。「回転寿司のパイオニア」として、お客様へより美味しく安全・安心、リーズナブルなお食事の提供に努めて参ります。



かっぱ寿司(外観)



“できたて”をお届けするストレートレーン



自動案内システム



かっぱ寿司の商品



大戸屋ホールディングス

国内外で「大戸屋ごはん処」を展開 健康的で美味しい「にっぽんの食卓ごはん」を提供

家庭らしさのある定食メニューを充実させている「大戸屋ごはん処」を国内外で展開しています。大戸屋独自の220項目もの厳しい添加物基準で厳選した食材を使用し、栄養バランスのとれた健康的で美味しい「にっぽんの食卓ごはん」を提供する定食屋チェーンとして幅広いお客様に支持されています。“大戸屋”ブランドのフードコートも商業施設を中心に展開し、リーズナブルに大戸屋の定食を提供しています。「大戸屋のお弁当」のテイクアウト、デリバリーとも合わせて、大戸屋ならではの“ほっとする味わい”をいつでもご家庭でお楽しみ頂けます。



大戸屋(外観)



テイクアウトデリバリー



大戸屋定食



フードコートモデル

2024年3月末現在

グループ会社紹介



コロナイドグループ全体の
マーチャンダイジング機能の要として

商品開発、生産・調達、製造、そして物流までのバックヤード業務を支える要として、グループのマーチャンダイジングの中核を担っています。「コロナイドMD研究所」ではグループ一括で調達する食材を起点とした各業態メニューの開発が行われておりコスト削減と品質向上の両立を実現しています。全工場で「JFS-B」の認証を取得し、食品安全管理レベルを高めつつ、グループ全体のセントラルキッチンとして稼働することで、各店舗の仕込みを軽減させる役割を果たしています。更には農業生産法人との連携や大豆ミート製造ラインの稼働等、持続的な食材調達にも取り組んでおり、今後もグループ全体の購買力活用、内製化による価格低減、そして安全・安心な基準により、お客様価値とグループ利益の最大化を目指して参ります。



物流拠点



三保工場



MD研究所



セントラルキッチン

FRESHNESS BURGER

上質な食生活を提案する
「大人がつつろげるバーガーカフェ」

こだわりの食材とつつろげる空間が評判の「フレッシュネスバーガー」を156店舗運営しています。

環境保全の取組みの一環としてご用意しているソイ(大豆)パティは、豆独特の香りが少なく、お肉と遜色ない食感や食べ応えが特長です。



WOLFGANG PUCK

ウルフギャング・バック氏
プロデュースによる
本格的カリフォルニア・レストラン

アカデミー賞®公式シェフ、ウルフギャング・バック氏がプロデュースするカリフォルニア・レストランを運営しています。カジュアルに楽しめるパスタ&ピッツアから本格的ディナー、ウェディング二次会など様々なシーンでご利用頂きます。



株式会社 ダイニングエール

外食市場で磨き抜かれた
安全・安心で美味しい給食の
普及を目指して

事業所給食を受託運営しています。外食市場で磨き抜かれた開発力と“味”へのこだわり、セントラルキッチンを活用したコストダウンの実現、HACCPに基づいた衛生管理の徹底等により、安全・安心で美味しい給食を提供しています。



「美味しく・楽しく・健康に」を
基本に医療・介護施設向け
給食サービスを展開

噛んだり飲み込んだりする力が低下した方向けに食形態を調整した「嚥下食」を提供するなど多様化するニーズにお応えできるサービスを展開しており、「美味しいと感じながら味わう」ことのできる食を追求しています。





美味しさと安全・安心の「食」を提供
グループの「デリカ事業」を牽引

調理パン、米飯、惣菜、寿司、デザート類を大手スーパー、コンビニ、ドラッグストア向けに販売する「デリカ事業」を展開しています。食品安全マネジメントの国際規格ISO 22000認証に基づく業界最高水準の食品衛生管理を徹底し、安全・安心な「食」の提供を進めています。



「ステーキ宮」
創業時の味を守り続ける

「ステーキ宮」で創業時から使用されている「宮のたれ」の製造及び販売を行っています。

独特な風味のたれは、原材料はタマネギ・ニンニク・本醸造醤油・醸造酢と極めてシンプル。生野菜の風味を最大限に生かしています。



生チョコ発祥のお店から、
心のごもった洋菓子をお届け

上質な素材にこだわったとろけるような口溶けの生チョコレートをお届けするシルスマリア。生チョコはここシルスマリアの工房で生まれました。発売当初から現在もその味を受け継ぎ、誇りをもってたくさんのお客様に美味しい生チョコレートをお届けしています。



ノーマライゼーションの理念に
基づき、社会参加の機会を拡大

「障がい者の社会への完全参加と平等」の理念に基づき特例子会社として設立されました。各種販促ツールの制作から請求書処理、野菜の一次加工など、障がいのある社員も他の社員と同様、活躍のフィールドを広がっています。



海外グループ

■REINS INTERNATIONAL (USA) CO., LTD.

北米における飲食店チェーン及びFC事業の運営
※子会社9社を含む

■台湾瑞滋國際股份有限公司

台湾における飲食店チェーンの運営

■東京牛角股份有限公司

台湾における飲食店チェーンの運営

■REINS INTERNATIONAL (SINGAPORE) PTE. LTD.

シンガポールにおける飲食店チェーンの運営
※子会社1社を含む

■REINS INTERNATIONAL (THAILAND) Co., LTD

タイにおける飲食店チェーンの運営

■PT. REINS MARINDO INDONESIA

インドネシアにおける飲食店チェーン及びFC事業の運営

■COLOWIDE VIETNAM., JSC.

ベトナムにおける飲食店チェーンの運営

■カッパ・クリエイト코리아株式会社

韓国における飲食店チェーンの運営

■COLOWIDE ASIA CO., LTD.

海外(アジア)での製造及び店舗展開における投資会社

■AMERICA OOTOYA INC.

アメリカ合衆国における飲食店チェーンの運営
※子会社1社を含む

■香港大戸屋有限公司

香港における飲食店チェーンの運営

■M OOTOYA (THAILAND) CO., LTD.

タイにおける飲食店事業の運営
※関係会社1社を含む

2024年3月末現在

■ コロワイドのサステナビリティ経営

◆ **基本方針** 私たちは、企業理念である「すべては、お客さまと社員のために」の考えのもと、食のインフラの担い手として、社会の持続可能な発展への貢献と企業価値の向上を目指します。

◆ **推進体制**



取締役会において、進捗状況の妥当性等を議論・監督し、その内容を各種取組みの推進に反映

サステナビリティ推進室においては、各種取組みの進捗状況を定期的に取り締役に報告

サステナビリティ推進室と各部門及びグループ子会社のサステナビリティ推進担当が連携しグループのサステナビリティを推進

◆ **マテリアリティ**

マテリアリティ	主な取組みテーマ	関連するSDGs
 <p>1 地球環境への貢献 「地球環境への貢献」は、次代への責務であり、気候変動の緩和、循環型社会の形成に向けて、再生可能エネルギーの安定的利用や資源の有効活用に取り組んでいく</p>	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量の削減 再生可能エネルギー利用の推進 資源の有効活用・循環 	
 <p>2 食の安全・安心の提供 「食の安全・安心の提供」は、外食企業として持続可能な成長の基盤であり、バリューチェーン全般における衛生管理と品質の追求、情報公開などを通じてお客様の信頼にこたえていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理体制の強化 情報公開の強化 食材のトレーサビリティ 	
 <p>3 働く仲間の成長と多様性の尊重 「働く仲間の成長と多様性の尊重」は、サービス業として欠かせない競争力の源泉であり、従業員が働きやすく、それぞれの成長を目指す職場環境を提供していく</p>	<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍の推進 外国人雇用の促進 従業員の能力向上支援 	
 <p>4 地域・社会への貢献 「地域・社会への貢献」は、持続的かつ安定的な事業運営に欠かせぬものであり、雇用創出・人材育成を通じた地域経済振興、食育や寄付を通じた地域交流促進に努めていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> こども食堂の運営受託 産学協働による人材育成 被災地支援や寄付などによる地域貢献 	
 <p>5 経営基盤の強化 「経営基盤の強化」は、持続的な成長に欠かせない重要課題の一つであり、経営の透明性を確保しつつ戦略の立案・実行及び監査を継続不断的な取組みとして充実させていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンスの強化 コンプライアンス意識の向上 リスクマネジメント体制の強化 	

コロワイドのサステナビリティに関する取組みの詳細はこちらから

<https://www.colowide.co.jp/sustainability/>



連結財務諸表 (IFRS)

連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前 期 2023年3月31日現在	当 期 2024年3月31日現在
資産		
流動資産	69,312	67,275
非流動資産	192,547	197,840
資産合計	261,859	265,115
負債		
流動負債	86,494	94,765
非流動負債	124,664	116,216
負債合計	211,158	210,981
資本		
親会社の所有者に帰属する持分合計	42,745	44,954
資本金	27,905	27,905
資本剰余金	40,482	40,532
自己株式	△143	△126
その他の資本の構成要素	△327	△139
利益剰余金	△25,172	△23,219
非支配持分	7,956	9,181
資本合計	50,701	54,135
負債及び資本合計	261,859	265,115

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前 期 2022年4月 1 日から 2023年3月31日まで	当 期 2023年4月 1 日から 2024年3月31日まで
売上収益	220,830	241,284
売上原価	96,619	101,916
売上総利益	124,212	139,368
販売費及び一般管理費	124,408	130,656
事業利益又は事業損失(△)	△196	8,712
その他の営業収益	2,051	2,142
その他の営業費用	8,598	3,736
IFRS営業利益又はIFRS営業損失(△)	△6,743	7,117
金融収益	1,223	2,214
金融費用	2,926	2,833
税引前利益又は税引前損失(△)	△8,446	6,498
法人所得税費用	133	2,434
当期利益又は当期損失(△)	△8,579	4,064
当期利益又は当期損失(△)の帰属		
親会社の所有者	△6,801	2,905
非支配持分	△1,778	1,159
当期利益又は当期損失(△)	△8,579	4,064

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前 期 2022年4月 1 日から 2023年3月31日まで	当 期 2023年4月 1 日から 2024年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,783	29,879
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,788	△13,582
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,755	△20,329
現金及び現金同等物に係る換算差額	292	273
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,532	△3,759
現金及び現金同等物の期首残高	48,534	50,066
現金及び現金同等物の期末残高	50,066	46,307

※事業利益=売上収益-売上原価-販売費及び一般管理費

株主様ご優待のご案内

株主様ご優待商品のご案内

株主様ご優待ポイントでお申込み頂けます。

株主様ご優待ポイントでお申込み頂けます。是非、お試下さい。

※本商品は、天候その他止むを得ない事情で変更又はお取り扱いを終了する場合がございます。※写真は全てイメージです。

■掲載商品は2024年7月～12月末日までの引換商品です。

ご優待商品のお問い合わせは、株主様ご優待ポイントサービスセンター ☎

0570-03-0312

045-228-9671

9:00～20:00 (1/1・1/2を除く)

1 国産黒毛和牛サーロインステーキ【宮のたれ】付き



冷凍

1万3千ポイント

黒毛和牛のサーロインステーキとこだわりの「宮のたれ」をセットでお届けします。

2 バンノウ水産 厳選【本鯖】の詰め合わせとネギトロのセット



冷凍

1万3千ポイント

人気の鯖詰め合わせ。今回は鯖の王様【本鯖】の中トロ・赤身をご用意致しました。ご一緒に定番のネギトロもご賞味下さい。

3 【宮のたれ】付きハンバーグとカットステーキのセット



冷凍

8千ポイント

人気のハンバーグとカットステーキをセットにしました。ご家庭でお店の味をお楽しみ下さい。

4 北海道産ゆめの大地豚詰め合わせ



冷凍

8千ポイント

北海道産ハイブリッド四元豚「ゆめの大地」。厚切りのバラ肉はサムギョプサル、薄切りのロース肉はしゃぶしゃぶでお召し上がり下さい。

5 シルスマリア生チョコ3種セット



冷蔵

6千ポイント

生チョコ発祥の店「シルスマリア」。人気の生チョコ3種類(シルスミルク・シルスピスター・スノーベリー)を詰め合わせました。

6 バンノウ水産 海鮮丼キット



冷凍

6千ポイント

キハダ鮪・びんちよう鮪・銀鮭をゴロっと角切りにしました。韓国風たれはユッケ丼に、ハワイ風たれはアヒホキ丼にしてお召し上がり下さい。

7 自家製! ジャンボしゅうまい



冷凍

5千ポイント

1個約45gのジャンボサイズ。食べる分だけ蒸してアツアツのしゅうまいをご家庭でお楽しみ下さい。

8 自家製! ジャンゴ餃子



冷凍

5千ポイント

これぞ甘太郎創業の味。自家製ジャンゴ餃子。肉汁たっぷりのアツアツ餃子を是非ご賞味下さい。

9 はまやカレーカレーキット



冷凍

5千ポイント

横浜ランドマークタワー1階のはまやカレー。お店の味をご家庭でもお楽しみ下さい。

10 ティラミス2種セットファミリーサイズ



冷凍

5千ポイント

ご家族で楽しめる大容量のティラミス。プレーン・抹茶の2種類をご用意しました。

11 大豆で作った! 【ガバオ】・【キーマカレー】・【タコミート】



冷凍

4千ポイント

お肉を一切使用せずに【ガバオ】・【キーマカレー】・【タコミート】を美味しくヘルシーに再現しました。

株主様ご優待
カードにて
ご利用頂ける
店舗

コロナイドでは、500株以上保有の株主の皆様へ、コロナイドグループでご利用頂ける株主様ご優待ポイント(1万円相当)を、年4回「株主様ご優待カード」に付与させていただきます。

※詳細はホームページをご確認下さい。

■ 3月末日の株主様…6月と9月に付与(合計2万円相当) ■ 9月末日の株主様…12月と3月に付与(合計2万円相当)

店舗情報・ご予約は <https://www.colowide.co.jp/gs>

※都合により店舗は予告なく閉店することがございますので、予めご容赦下さい。

レストラン	かっぱ寿司	にぎりの徳兵衛	海鮮アトム
	ステーキ宮	カフェ&ピヤレストラン 宮	和牛ステーキ桜 (那須高原店)
	カルビ大将	味のがんこ炎&がんこ亭	かつ時
	ラパウザ	CANTINA	ウルフギャング・パック
	なぎさ橋珈琲	M.M MARKET & CAFE	みなとみらい食堂
	小さな森珈琲	時遊館	ラ・ラナリータ* <small>改装工事中 7/21リニューアルオープン予定</small>
	ジンギスカン羊々亭*	アサヒビール園はまなす館*	朝陽閣*
居酒屋	甘太郎	いろはにほへと	NIJYU-MARU
	三間堂	轟眞屋	寧々家
	北海道	海へ	和処ダイニング暖や
	やきとりセンター	炭火烧処 鳥の蔵	KITEKI
	3・6・5酒場	ほのぼの横丁	Beer & Spice*
	Beer Thirty*	BW STATION*	フラムドール*
	隅田川ブルーイング*	バルStyle*	スカイルーム* <small>改装工事中 7/11リニューアルオープン予定</small>
	デイトリッパー	*が付いている店舗は「2024年6月28日」よりご優待カードを使用できます。	

コロナイドグループ店舗のうち、牛角、牛角食べ放題専門店、牛角焼肉食堂、温野菜、かまどか、土間土間、酒場ぶつちぎり、とんかつ神楽坂さくら、あじフライ神楽坂さくら、酒場トリノ、鮫処「濱」、BAR「馬車道」、濱一貫、濱いちもんめ、パンノウ水産、フレッシュネスバーガー、FRESHNESSパン工房、焼肉飛車角、LIT ORANEO、はまやカレー、大戸屋ごはん処、大戸屋おかず処、蕎麦処大戸屋、シルスマリア、チーズガーデン、クリオロ、グリーンデルベルグ、カフェ&ガーデンしらすぎ邸、エヌカカオチョコレート、ピュアココトーキョー、海外店舗等では、ご利用頂けませんので、ご了承下さい。詳しくは、弊社ホームページをご確認下さい。

2024年6月末現在

会社概要 (2024年3月31日現在)

商号：株式会社コロワイド
所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
ランドマークタワー12階
設立：1963年4月
資本金：279億5百万円
主な事業内容：1. 飲食店の経営
2. 各種食料品の仕入販売及び加工販売
3. 煙草、酒類の販売
4. カラオケルームの経営

役員 (2024年3月31日現在)

代表取締役会長 蔵人金男
代表取締役社長 野尻公平
取締役 磯野健雄
取締役 松見大輔
取締役 植田剛史
社外取締役 李野純子
社外取締役 藤山雄治
取締役 監査等委員 宇田猛
社外取締役 監査等委員 福崎真也
社外取締役 監査等委員 熊王斉子
社外取締役 監査等委員 樋口一成

株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会：毎年6月開催
基準日：定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
その他必要があるときは、予め公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会には口座のある証券会社宛にお願い致します。証券会社に口座を開設されていない株主様は下記の電話照会先にご連絡下さい。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関：東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人：東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所：三井住友信託銀行株式会社

(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL) <https://www.smbj.jp/personal/procedure/agency/>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座とします。)を開設致しました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は上記の電話照会先にお願い致します。

公告方法：電子公告
上場証券取引所：東京証券取引所

株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	112,999,820株
	優先株式	30株
	第2回優先株式	50株
	第3回優先株式	100株

発行済株式の総数	普通株式	86,903,541株
	優先株式	30株
	第2回優先株式	30株
	第3回優先株式	90株

単元株式数	普通株式	100株
	優先株式	1株
	第2回優先株式	1株
	第3回優先株式	1株

株主数	普通株式	111,024名
	優先株式	1名
	第2回優先株式	1名
	第3回優先株式	1名

大株主

株主名	持株数	持株比率
		千株 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,418	8.6
株式会社サンロード	5,766	6.7
蔵人良子	4,062	4.7
蔵人賢樹	2,864	3.3
蔵人金男	2,691	3.1
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	1,275	1.5
鈴木理永	1,094	1.3
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	579	0.7
BofA証券株式会社	379	0.4
株式会社みずほ銀行	354	0.4

(注) 持株比率は自己株式(196,199株)を控除して計算しております。

